

塗料と塗装の情報を満載！

# ペイント瓦版 FAX 編



## ナガヤ塗料株式会社

Paint Kawaraban2009

No.156

〒454-0903 名古屋市中川区柳瀬町1-16-1

TEL:052-361-0224

FAX:052-353-5234

Email: nagaya-p@sf.starcat.ne.jp

発行: ペイント瓦版編集局

担当: 企画販売部 阿部美広

### 年末のご挨拶

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

早いもので、もう年末のご挨拶をする時期となりました。読者の皆様には、今年も大変お世話になりました。来年もセミナーを始め、少しでもイベントの機会を作れるよう、誠意努力する所存ですので、今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、弊社では左記の予定で冬期休暇を実施させていただきますので、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 休業期間

平成二十一年十二月三十日(水)

平成二十二年一月四日(月)

# 冬



### ホワイトボードに変身、塗料上陸 機能がクリエイターの感性を刺激する

アメリカからユニークな塗料が上陸。その名は「ideapaint(アイデアペイント)」。この塗料を塗った面はホワイトボードに変身し、マジックで自由に描いたり消したりできるというスグレモノ。国内でも先進的なユーザーが既に使い始めている。

デザインや企画、編集会社などクリエイティブな仕事を手掛ける企業が多数入居している東京・五反田の町原ビル。各社のオフィスにはアイデアペイントがふんだんに使われている。

例えば編集・デザイン会社の東京ピストルでは、大きな打ち合わせテーブルの天板にスタッフがDⅣでアイデアペイントを施した。打ち合わせのときに浮かんだアイデアやイラストをその場で机に書き込めるので考えの伝達がしやすく、メンバーの意見も活発になってアイデアに広がりが出る」と代表の草洋平氏。

また、企業のクリエイティブコンサルティングやプロデュース、デザイン戦略などを提供するA.E.Oではオフィスの壁全面にアイデアペイントをセルフペイントした。

同社・アートディレクターのボウスキル・ジェームズ氏は「私たちの仕事はアイデアが生命線。思いついたときにどこにでもアイデアを書くことができ、そこにまた別の人が付け加えていくことで更に新しいアイデアが生まれます。マインドマップのようなアイデアの連鎖図がインテリアのデザインにもなり非常に面白い」と大絶賛だ。

また別のスタッフは「規格化され無味乾燥な市販のホワイトボードに比べ、壁や机、シェルフ、小物までホワイトボードに変えてしまうのがこのペイントの醍醐味。使い方によってはとても楽しい空間ができる。水性で臭いもなく、出来上がりを想像しながらの作業自体も楽しい。イメージーションが膨らみます」とコメント。塗料の機能が感性やアイデアを刺激し、楽しさへと変化している格好の事例だ。

出典:ペイント&コーティングジャーナル

詳細及びお値段は弊社営業担当まで！～弊社店舗にも施工予定ですので、どうぞ期待！！～

弊社運営の情報発信型オンラインショップ Paint Box (ペイントボックス)  
<http://www.paint-box.co.jp>

ペイント瓦版は、お客様への情報提供の為に弊社が配信しておりますが、希望されない場合には、お手数をお掛け致しますが下記にご記入の上ご返信お願い致します。

貴社名:

FAX番号:

FAX (052)353-5234まで